



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
 コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
 (氏名) 二階堂 恭仁
 (氏名) 大森 正昭
 TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,056	41.2	2,272		2,157		1,561	
2020年3月期第1四半期	8,598	6.2	266		182		153	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	596.46	
2020年3月期第1四半期	58.83	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	39,245		29,348			73.9
2020年3月期	41,365		31,061			74.1

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 28,984百万円 2020年3月期 30,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2021年3月期の配当予想については、現時点では業績予想の算定が困難であることから未定としております。今後、配当予想が可能になった段階で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	3,146,000 株	2020年3月期	3,146,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	528,549 株	2020年3月期	528,549 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	2,617,451 株	2020年3月期1Q	2,617,601 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想については、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、社会経済活動が停滞し、企業収益の急速な減少や雇用環境の悪化など、極めて厳しい状況で推移しました。道内の経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光需要や個人消費の減少など、景気は大幅に悪化しております。

このような経営環境の中、当社グループは、地域社会に密着した事業を積極的に展開するとともに、経営効率を高め収支改善や経営体質の強化など、企業価値の向上に取り組んでまいりましたが、旅客自動車運送事業、観光事業において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,056百万円（対前年同期比41.2%減）、営業損失は2,272百万円（前年同期は266百万円の営業損失）、経常損失は2,157百万円（前年同期は182百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,561百万円（前年同期は153百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大幅な減収を余儀なくされましたが、バス車内及び施設の感染防止対策を徹底するとともに、インバウンド需要の消失や人の移動の自粛により大きく減少したバス需要に合わせて、細やかに運行便数の減便を行うなどの対応を図りながら、バス路線の運行を維持し、地域の公共交通機関としての役割を果たしてきました。

貸切運送事業においても、旅行需要が消失し大幅な減収となりました。

この結果、売上高は2,432百万円（対前年同期比51.3%減）、設備投資計画を全面的に見直すなど費用の削減を図りましたが、2,081百万円の営業損失（前年同期は173百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、受注高、完成工事高とも減少しました。

この結果、売上高は1,722百万円（対前年同期比20.1%減）、原価管理の徹底による工事原価の圧縮により76百万円の営業損失（前年同期は95百万円の営業損失）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、受注の増加により増収となりました。

この結果、売上高は714百万円（対前年同期比1.0%増）、営業利益は52百万円（同15.8%増）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、前年同期並みの売上高を確保しました。

この結果、売上高は198百万円（対前年同期比0.1%増）、営業利益は99百万円（同0.8%減）となりました。

⑤ 観光事業

観光事業においては、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、施設の感染防止対策を徹底してきましたが、インバウンド需要の消失や人の移動の自粛により利用客が大きく減少し、施設の休業や営業時間の短縮を余儀なくされるなど多大な影響を受け、大幅な減収となりました。

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、春スキー客が減少し、例年よりも早く冬期営業を終了しました。

小樽天狗山スキー場は、ロープウェイ利用客が減少し、運休や営業時間の短縮を行いました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、4月下旬から休館しました。

道央自動車道に直結した観光施設の砂川ハイウェイオアシス館は、臨時休業や営業時間の短縮を行いました。

この結果、売上高は77百万円（対前年同期比76.0%減）、199百万円の営業損失（前年同期は135百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

自動車教習所は、政府や自治体の要請を受け臨時休業を実施しました。旅行業においても、旅行需要が消失し臨時休業を実施しました。

この結果、売上高は507百万円（対前年同期比40.7%減）、69百万円の営業損失（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,984,519	8,452,272
受取手形及び売掛金	3,749,044	2,423,292
有価証券	3,200,000	600,000
商品	34,972	41,063
原材料及び貯蔵品	158,675	151,115
未成工事支出金	21,685	121,758
その他	465,034	595,742
貸倒引当金	△10,280	△3,755
流動資産合計	14,603,652	12,381,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,423,484	20,441,062
減価償却累計額	△15,635,439	△15,712,228
建物及び構築物（純額）	4,788,044	4,728,834
車両運搬具	28,676,742	28,320,309
減価償却累計額	△22,403,374	△22,399,207
車両運搬具（純額）	6,273,367	5,921,101
土地	10,043,397	10,043,671
その他	4,737,864	4,743,311
減価償却累計額	△4,029,763	△4,062,713
その他（純額）	708,100	680,598
有形固定資産合計	21,812,910	21,374,205
無形固定資産		
投資その他の資産	118,441	111,976
投資有価証券	4,289,089	4,325,506
その他	564,672	1,076,181
貸倒引当金	△23,478	△23,448
投資その他の資産合計	4,830,282	5,378,240
固定資産合計	26,761,635	26,864,422
資産合計	41,365,287	39,245,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,142,428	1,871,580
未払法人税等	247,046	45,135
賞与引当金	234,562	224,149
その他の引当金	3,974	281
その他	3,622,136	3,829,055
流動負債合計	6,250,148	5,970,202
固定負債		
退職給付に係る負債	2,918,953	2,888,348
役員退職慰労引当金	340,604	337,596
その他	794,313	700,956
固定負債合計	4,053,871	3,926,902
負債合計	10,304,019	9,897,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	28,272,309	26,566,169
自己株式	△1,216,445	△1,216,445
株主資本合計	29,915,205	28,209,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,129,126	1,150,107
退職給付に係る調整累計額	△376,726	△374,821
その他の包括利益累計額合計	752,399	775,285
非支配株主持分	393,662	364,455
純資産合計	31,061,267	29,348,807
負債純資産合計	41,365,287	39,245,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,598,894	5,056,044
売上原価	8,100,696	6,590,589
売上総利益又は売上総損失(△)	498,197	△1,534,545
販売費及び一般管理費	764,293	737,549
営業損失(△)	△266,095	△2,272,094
営業外収益		
受取配当金	54,661	56,837
助成金収入	2,841	30,981
持分法による投資利益	17,175	16,283
その他	8,814	11,137
営業外収益合計	83,493	115,239
営業外費用		
支払利息	151	21
支払手数料	217	673
その他	2	35
営業外費用合計	371	730
経常損失(△)	△182,973	△2,157,585
特別利益		
固定資産売却益	30,239	158
受取保険金	—	293
その他	74	14
特別利益合計	30,314	466
特別損失		
固定資産除売却損	3,601	2,863
投資有価証券売却損	0	5,880
その他	281	103
特別損失合計	3,883	8,846
税金等調整前四半期純損失(△)	△156,543	△2,165,965
法人税、住民税及び事業税	14,784	14,424
法人税等調整額	△1,423	△590,927
法人税等合計	13,360	△576,502
四半期純損失(△)	△169,904	△1,589,462
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,917	△28,269
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△153,986	△1,561,193

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△169,904	△1,589,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,192	22,113
退職給付に係る調整額	226,745	1,905
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,634	△969
その他の包括利益合計	321,303	23,049
四半期包括利益	151,399	△1,566,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,327	△1,538,306
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,928	△28,106

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書「(追加情報) (会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)」から重要な変更はありません。

なお、当社グループでは固定資産の減損の判定及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについて、当連結会計年度第2四半期までの半年程度は大幅な減収傾向が続き、その後緩やかに回復していくものと仮定し、会計処理に反映しております。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	2,422,848	1,713,898	453,136	114,772	77,043	274,345	5,056,044	—	5,056,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,600	8,345	261,474	83,282	792	232,772	596,267	△596,267	—
計	2,432,448	1,722,243	714,610	198,055	77,835	507,118	5,652,311	△596,267	5,056,044
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△2,081,245	△76,733	52,961	99,503	△199,546	△69,905	△2,274,966	2,872	△2,272,094

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しておりません。